

協働で展覧会を企画していきます。

これまでに市民コレクション展では、土人形のコレクターや昆虫研究者が長年かけて集めたそれぞれのコレクションを披露し、コレクターのキャリアを多くの来館者が共有したり、市民の文化活動報告展では、歴史的建造物やまちなみを調査研究し、まち歩きを楽しくする提案を行っている市民グループが、活動成果を展示と関連イベントの形で発表しました。

また、企画展に参加や見学する市民も、それぞれが自身のキャリアデザインを「発見」「再発見」することで、博物館が学びと交流の場に生まれ変わりました。

## ひとつづくりから まちづくりへ

博物館には、会議室などに市民



が気軽に集い、活動を行う場所がないことから、一体的に管理運営されている市民会館が活用されています。

19年度、市民会館の部屋の一つが改修されて「市民つどいの間」と

## 生け花観賞には最高の舞台

柿沼 香月さん

週一回、市民会館の月の間と雪の間をお借りして、生け花サークルを開いています。市民会館の大きな床の間に生け花を飾ると、たいへん映える

ので作品を鑑賞するのに最高の場所ですね。みなさん素晴らしい施設で稽古ができることを、本当に喜んでいきます。それにお稽古の後、手入れの行き届いた庭をながめながらのお茶は、とても心が癒されます。

になりました。ここでは博物館・市民会館の学芸員が常駐し、来館者への情報提供をしたり、ボランティアで市民会館・博物館を案内するガイドも定期的に詰めており、見学者への解説を行うほか、市内全域の「まち歩き」の予約や相談も受け付けています。

市民会館では、寺子屋講座、自主研究グループ育成連続講座、親子の茶道講座など実施しています。

寺子屋講座は、まちの仕事人講話と芸道文化講座があり、講師を市民が務めるほか、一方的な講義形式とせず、講師と参加者とのコ



ミュニケーション、参加者同士の交流を大切にし、お互いに学びあう場としていることが特徴です。

さらに自主研究グループ育成連続講座では、植物標本作りや古文書の扱い方などを学び、講座後も受講生がグループを作り活動を継続できるよう支援体制もとっています。

こうした講座へ参加することは、自発的、能動的な生き方を考えることや、多くの市民との交流を通して、地域コミュニティの一員として、自らの働きを自覚することにつながり、活気ある市民が育つことで、まち全体が活気あるものになると考えます。

市民会館利用者



の声